

新社長のご挨拶

この度村井前社長からバトンタッチを受け、社長職を拝命することになりました。創業以来30年水耕栽培プラントメーカーとして生産者の方々の、より軽作業化・多収量化・通年生産体系化の実現のため、単に機器提供だけに留まらず、栽培品目拡大、栽培法確立など生産者の皆様と一緒に努力してまいりました。これらの活動の結果、億単位の売上を確保する水耕生産者の方々も出現してまいりました。しかしなが

ら、昨今施設園芸を取り巻く環境は、後継者難・環境調和・海外生産の増加・野菜価格低迷と一際厳しいものがありますが、こんな時だからこそ創意工夫を織り込んだ対応策の推進が求められます。弊社も企業30年説なのか停滞気味の状況におかれており、昨年から取り組んでおります「新生M」の確立が求められております。メーカーとしてお客様に喜んでいただける機器の提供が使命と考え、従来の水耕栽培のメリットに加え、新しい付加価値を付与できる生産手法の開発に焦点をあて、皆様に喜

ばれるM式をめざして邁進してまいります。ご支援をお願いする次第です。

代表取締役社長 阿部芳巳



第9回国際園芸技術展(幕張メッセ)に出展!

隔年開催となる国内最大の施設園芸展が、今年も千葉県幕張メッセで「環境・豊かさ・共生 21世紀農業の構築」のテーマのもとに4月18日～21日の4日間開催され、弊社も出展いたしました。テーマに沿うように、植物工場・有機培地水耕・ダッチライト型温室・フラワーシャンデリヤと出展品を絞

り、その他商品紹介はビデオで紹介の方針で臨みました。過去最大の250社500小間の展示で、オランダ・韓国・フランス・ギリシャ・台湾・イスラエルなど海外からの出展も多いのが今年の特徴でした。しかし、国内企業は小間数を減少させて、あるいはコンパニオン数削減など経費節減傾向でした。来

場者数は、各日1万人強約5万人で、例年通り。弊社展示の中では、植物工場展示が弊社だけだったこともあって注目を浴びました。有機培地水耕は作物としてパプリカを展示しましたが、各社もパプリカ出展多く、ここもかとの感じでしたが、バキューム機構には興味を示していました。弊社展示ブース



植物工場説明に聞き入る来場者

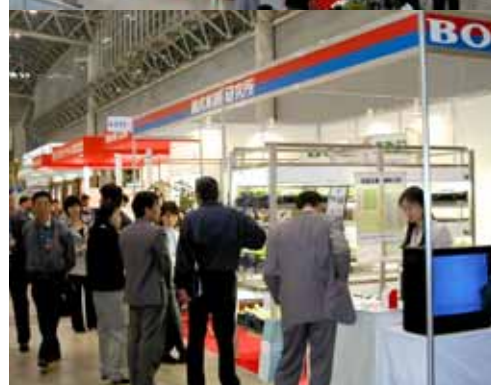


M式展示ブース

有機培地水耕パプリカ展示



東海物産と隣合わせのM式展示ブース



にも多くの方が来場いただきありがとうございました。新しい商品に絞って展示しましたが、M式がこんなことまでやってるの!と、驚かれた方が多く「新生M」のイメージを認識いただけたのではないかと思います。オランダ・インベカ社からもハウスの説明員来場し弊社

小間で共同でPRにあたりました。

また、併設で施設園芸シンポジウムも開催され、「植物工場 - 実用化の進展とその課題」「養液栽培と関連分野における新しい展開」「環境と健康に優しい施設園芸」「施設園芸を支える新技術」「施設園芸の省力化と快適

化」「接木苗大量生産技術の進歩」などの6つのセッションで開催されました。弊社から小倉経営企画室長が植物工場セッションで「植物工場の今後の課題と対策」のテーマで講演するなど、こちらでも気を吐いておりました。(担当 村井 寛)